

令和 8 年度

県営住宅（白山台団地）1号棟屋根・外壁塗装改修工事

図面リスト		
NO	図 面 名	縮 尺
A -01	特記仕様書 1	1/-
A -02	特記仕様書 2	1/-
A -03	特記仕様書 3	1/-
A -04	特記仕様書 4	1/-
A -05	特記仕様書 5	1/-
A -06	特記仕様書 6	1/-
A -07	配置図・案内図	1/800
A -08	改修仕上表	1/-
A -09	1階・2階平面図	1/100
A -10	3階平面図・屋根伏図	1/100
A -11	立面図（1号棟）	1/100
A -12	断面詳細図	1/40
A -13	建具表	1/100

三八県土整備事務所

有限会社 柳計画設計

県営住宅（白山台団地）1号棟屋根・外壁塗装改修工事		特記仕様書																				
<div>I. 工事概要</div> <div>1. 工事場所</div> <div>八戸市北白山台4丁目地内</div> <div>2. 敷地面積</div> <div>9,334.77㎡（1～5号棟、集会場）</div> <div>3. 工事種目</div> <div>1）県営住宅白山台団地RC造3階建延べ面積1,021.61㎡</div> <div>改修一式</div> <div>4. 工事内容</div> <div>1）県営住宅白山台団地</div> <div>－1. 防水改修工事を行う。</div> <div>－2. 金属工事を行う。</div> <div>－3. 外壁改修工事を行う。</div> <div>－4. 塗装改修工事を行う。</div> <div>5. 指定部分</div> <div>・有対象部分（指定部分工期年 月 日）</div> <div>・無</div> <div>6. 工事範囲</div> <div>※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。</div> <div>・「3. 工事種目」のうちの工事範囲は下記のとおりとする。</div>		<div>II. 建築改修工事仕様</div> <div>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。</div> <div>○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）</div> <div>・公共木造建築工事標準仕様書（令和7年版）</div> <div>・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）</div> <div>(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。</div> <div>なお、電気設備工事の特記仕様書は（／）図、機械設備工事の特記仕様書は（／）図による。</div> <div>(3) 本特記仕様書の表記</div> <div>1) 項目は、○印の付いたものを適用する。</div> <div>2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</div> <div>○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。</div> <div>○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。</div> <div>3) 特記事項に記載の〔. . .〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</div> <div>4) 特記事項に記載の（. . .）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</div> <div>5) ㊤印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月3日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。</div>		<div>○材料の品質等</div> <div>(1.4.2) [1.4.2]</div> <div>1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</div> <div>2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。</div> <div>3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</div> <div>4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。</div> <div>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</div> <div>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</div> <div>③安定的な供給が可能であること。</div> <div>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</div> <div>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</div> <div>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</div> <div>5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料</div> <div>床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル（タイル工事用）、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鑄鉄製ふた</div> <div>調査</div> <div>※石綿含有建材の事前調査</div> <div>工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。</div> <div>貸与資料</div> <div>（・アスベスト関係材料調査票・既存図面・）</div> <div>・分析による石綿含有建材の調査</div> <div>分析対象</div> <div>アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト</div> <div>分析方法</div> <table><thead><tr><th></th><th>定性分析方法</th><th>定量分析方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>材料名</td><td>JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3、JIS A 1481-4またはJIS A 1481-5</td></tr><tr><td></td><td>・箇所</td><td>・箇所</td></tr><tr><td></td><td>・箇所</td><td>・箇所</td></tr><tr><td></td><td>・箇所</td><td>・箇所</td></tr></tbody></table> <div>サンプル数</div> <div>1箇所あたり3サンプル</div> <div>採取箇所</div> <div>・図示による・</div>			定性分析方法	定量分析方法	材料名	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4またはJIS A 1481-5		・箇所	・箇所		・箇所	・箇所		・箇所	・箇所	<div>・埋設配管・配線及び鉄筋調査</div> <div>あと施工アンカー工事</div> <div>6章及び8章による</div> <div>コア抜き、はつり工事等</div> <div>※既存資料調査</div> <div>・探査機（電磁波レダ-法又は電磁波誘導法）による探査</div> <div>配管・配線等の位置の墨出を行う範囲</div> <div>※図示による・</div> <div>・放射線透過試験</div> <div>労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。</div> <div>1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。</div> <div>2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。</div> <div>3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。</div> <div>4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。</div> <div>5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。</div> <div>撮影枚数枚</div> <div>フィルムサイズ</div> <div>コンクリート厚さcm</div>	
	定性分析方法	定量分析方法																				
材料名	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2	JIS A 1481-3、JIS A 1481-4またはJIS A 1481-5																				
	・箇所	・箇所																				
	・箇所	・箇所																				
	・箇所	・箇所																				
		章項目特記事項																				
1		・適用区分																				
各		建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。																				
章		・風圧力																				
共		風速（Vo= m/s）																				
通		地表面粗度区分（・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）																				
事		・積雪荷重																				
項		平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（）																				
○施工条件		・施工順序（1.3.5）[1.3.5]																				
		（※現場説明書による・図示）																				
		・工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所（・図示）																				
○環境への配慮		(1.4.1) [1.4.1]																				
		1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。																				
		① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。																				
		② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。																				
		③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く）が添加されていない材料を使用する。																				
		④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。																				

工事名	県営住宅（白山台団地）1号棟屋根・外壁塗装改修工事	有馬会社 設計画設計	承認	担当	図面番号
概尺	S=1/…		設計	製図	A
図面名	特記仕様書-1				01
青森県八戸市大字鉾町字小系第31番地7 TEL 0176-34-3949 一級建築士事務所（青森県知事）第1605号 一級建築士登録（建設大臣）第132417号 藤沢 清 雄					

②

仮設工事

・騒音・粉じん等の対策

・足場等

・防音パネル
・防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による

「手すり先行工法等に関するガイドライン」について
(厚生労働省 令和5年12月26日)の「(別紙)手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場
・設置する
(設置範囲
・工事に必要な範囲
・図示による
・設置しない

防護シート
・設置する
(設置範囲
・工事に必要な範囲
・図示による
・設置しない

内部足場
・設置する
(※脚立、足場板等
・設置しない

・材料、撤去材等の運搬方法
種別(・A種
・B種
・C種
・D種
・E種)
C種:利用可能なエレベーター
(・図示による
・D種:利用可能な階段
(・図示による

・既存部分の養生

仮設間仕切り

③

防水改修工事

・施工数量調査

調査範囲
・図示による
調査方法
・図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書(提出部数
・2部
・)

・降雨等に対する養生方法
(とい共)

・既存防水の処理

・既存下地の処理

・アスファルト防水

[1.6.2、3]

調査範囲
・図示による
調査方法
・図示による
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書(提出部数
・2部
・)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)~(9)による
・

既存保護層の撤去
[3.1.4][3.2.3、4、6]
・行う(範囲
・図示による
・行わない

既存防水層の撤去
・行う(範囲
・図示による
・行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う(・M4AS
・M4ASI
・M4C
・M4DI
・L4X)
・行わない

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
[3.2.6]
・図示による
POS工法及びPOSⅡ工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
※改修標準仕様書3.2.6(4)(9)(g)①~③による
・
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

[3.3.2~5]

新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種別
改修工法新設種別施工箇所断熱材断熱材種類使用量高日射反射率備考

・M4C
・C-1
・C-2
・C-3
・C-4

・M3D
・M3DI
・M4DI

・D1-1
・D1-2

改修標準仕様書3.3.2(9)(種類)
(厚さ)(mm)
・

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.7~表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ()mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
・
材料による区分
※R種
厚さ()mm以上
絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・(個)

屋内防水
防水層の種類
改修工法種別施工箇所

・P1E
・P2E

・E-1
・E-2

保護層
・設ける(※図示による
・
・設けない
・E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
・屋上排水溝
・図示による

工事名
1
県営住宅(白山台団地)
1号棟屋根・外壁塗装改修工事
断尺
S=1/〜
図面名
特記仕様書-2

有 限 公 司
柳 計 画 設 計
青森県八戸市大字飯町字小森31番地7
TEL 018-34-3949
一級建築士事務所(青森県知事)第1605号
一級建築士登録(建設大臣)第132417号
柳沢 清 雄

承認
担当
図面番号
A
O 2

・合成高分子系
ルーフィングシート防水

新設防水層の種類				[3. 5. 2~4] [表3. 5. 1~3]			
改修 工法	新設 種別	施工 箇所	断熱材 ☐	仕上塗料		高日射 反射率 防水☐	備考
				種類	使用量		
・POS ・S4S	・S-F1			・ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	※ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	・適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	・S-F2					・適用 する	
	・S-M1			・ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	※ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	・適用 する	
	・S-M2					・適用 する	
・S3S	・S-F1	・フレ キャスト コンク リート 下地		・ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	※ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	・適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-F2	・フレ キャスト コンク リート 下地				・適用 する	
・M4S	・S-M1			・ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	※ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	・適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない
	・S-M2					・適用 する	
・POS1 ・P3S1 ・P4S1 ・M4S1	・SI -F1	・フレ キャスト コンク リート 下地	改修 標準 仕様書 3. 5. 2 (3) (イ) (b) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・ 25 ・ 50	・ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	※ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	・適用 する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない
	・SI -F2	・フレ キャスト コンク リート 下地			・適用 する		
	・SI -M1		改修 標準 仕様書 3. 5. 2 (3) (イ) (a) (種類) ・ (厚さ) (mm) ・ 25 ・ 50	・ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	※ルーフ イング シートの 製造 所の仕 様	・適用 する	
	・SI -M2				・適用 する		
S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※非歩行仕様 ・軽歩行仕様 SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない							

屋内防水

防水層の種類

改修工法	新設種別	施工箇所	保護層	
			平場の保護モルタル塗厚	立上り部の保護モルタル塗厚
・ P1S	・ S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類

目地割

※目地割2m程度、最大目地間隔3m程度

・

目地の種類

※押し目地

・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書 表3.5.1から表3.5.3による

・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ

種類

・

厚さ

mm以上

絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質

※発泡ポリエチレンシート

・

固定金具の材質、形状及び寸法

※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板

又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

・

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・

設置数量

※ルーフィングシートの製造所の仕様

・ () 個

接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理

・ 行う (図示による)

プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り

(種別S-F1、SI-F1の場合)

・ 行う (図示による)

・ 行わない

機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け

1章 適用区分による風圧力の

(・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種類

[3.6.2、3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射 反射率 防水 ^④	備考
			種類	使用量		
・ POX	※X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		・ 主材の製造所の仕様 ・	※主材の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用 ^⑤ レ ・ 設ける ・ 設けない
・ L4X	・ X-1 ※X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		・ 主材の製造所の仕様 ・	※主材の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない

ウレタンゴム系塗膜防水工法X-1の脱気装置の種類及び設置数量

種類

※主材料の製造所の仕様

・

設置数量

※主材料の製造所の仕様

・

(個)

•

新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種別

改修 工法	新設 種別	施工箇所	工程数及び 各工程の使用量	保護層
・ P1Y	※Y-2 .	.	※主材料の製造所 の仕様による .	・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ(mm)
・ P2Y	※Y-2 .	.	※主材料の製造所 の仕様による .	・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ(mm)

シーリング改修工法の種類 [3.1.4] [3.7.2、3、7、8]

- ・ シーリング充填工法
- ・ シーリング再充填工法
- ・ 拡幅シーリング再充填工法
- ・ ブリッジ工法
 - ポンドブレーカー張り
 - ・ 適用する ・ 適用しない
 - エッジング材張り
 - ・ 適用する ・ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所

- ・ 図示による .

シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による

- ・ 図示による
- .

接着性試験
※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

といその他の材種 [3.8.2、3]

- ・ 配管用銅管
- ・ 硬質ポリ塩化ビニル管
- ・ ルーフドレン
- ・ 表面処理銅板
- .

とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による
(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

- .

形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）

- .

取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による

- .

足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による
(溶融亜鉛めっきを行ったもの)

- .

形状
※市販品

- .

取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による

- .

多雪地域

- ・ 適用する ・ 適用しない

工事名
— 県営住宅（白山台団地）
— 1号棟屋根・外壁塗装改修工事

縮尺
S=1/-

図面名
特記仕様書-3

・ア製

防露材のホルムアルデヒド放散量

※F☆☆☆☆

既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法

・ 図示による

鋼管製といの防露巻き

※改修標準仕様書 表3.8.4による

ルーフドレンの種類及び呼び		
種別	呼び	施工箇所
・ろく屋根用 たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150	
・ろく屋根用 横形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150	
・バルコニー 中継用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100	
	・差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100	
・バルコニー用	※ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100	
	・差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100	

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを
充填する

種類 [3.9.2、3]

・押出材材形
 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350形)
 ・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式)
 本体幅 () mm
 板厚 (※2.0mm) mm

表面处理

種別 () 種
色合等 ・ 標準色 ()
・ 特注色 ()

既存笠木等の撤去

・ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ）

・ 行わない

下地補修の工法
 ※図示による
 板材折曲げ形の筵木の取付方法
 ※図示による
 筵木の固定金具の工法等
 1章 適用区分による風圧力の
 (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

工 事 名		 有限会社 柳 計 画 設 計 青森県八戸市大字駒町字小長根31番地7 TEL 0178-34-3949 一級建築士事務所（青森県知事）第 1605 号 一級建築士登録（建設大臣）第 123417 号 柳 沢 真 理	承認	担当	図面番号
県営住宅（白山台団地） 1号棟屋根、外壁塗装改修工事			設計	製図	A O 3
縮尺	S=1/—		設計 日	29 . 08	
図面名	特記仕様書-3				

4

外壁改修工事（共通事項）

4-1

外壁改修工事
コンクリート打放し仕上げ外壁

・施工数量調査

調査範囲
・外壁改修範囲
・図示による
調査内容
ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。
塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による
調査報告書の部数（・2部　・　）

4-2

外壁改修工事
モルタル塗り仕上げ外壁

・ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法
[4.1.4] [4.3.5、6、7、8]
工法の種類
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・機械式エポキシ樹脂注入工法
注入状況の確認方法
※コアの抜き取りを行う
抜き取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・抜き取り部の補修方法
※図示による
・Uカットシール材充填工法
工法の種類
・可とう性エポキシ樹脂
・シーリング材
・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・シーリング材のうゑにポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）の充填
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書 3章 防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
工法の種類
・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂
・充填工法
材料
平均深さ（mm）
平均広さ（㎡）
延べ箇所数（-）
・ポリマーセメントモルタル
・エポキシ樹脂モルタル
ポリマーセメントモルタルの性能、試験方法は別表による
・モルタル塗替え工法
材料
平均深さ（mm）
平均広さ（㎡）
延べ箇所数（-）
・現場調査材料
・既調査材料
・現場調査材料
（セメントは改修特記仕様書8-2 コンクリート工事による）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

・浮き部改修工法

・浮き部改修工法
[4.1.4] [4.3.11～16]
工法の種類
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
・充填工法
・モルタル塗替え工法
アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm程度
・
注入工法用材料
・ポリマーセメントスラリー
広がり速度
長さ変化量（収縮）
引張接着性（材齢28日）
曲げ性能（材齢28日）
吸水性（72時間）
耐久性（劣化曲げ強さ）
3以上
3以下
0.5以上
5.0以上
15以下
5.0以上
保水係数　0.35～0.55
粘調係数　0.50～1.00
充填工法用材料
・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル
（性能、試験方法は別表による）
モルタル塗替え工法用材料
・現場調査材料
（セメントは改修特記仕様書 8章 8-2 コンクリート工事による）
・既調査材料（　・　）
既製目地材
・使用する（形状　・図示による　・　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
※図示による　・

4-3

外壁改修工事
タイル張り仕上げ外壁

・タイルの形状、寸法等

・タイルの形状、寸法等
[4.4.5、8]
タイルの形状、寸法等
種類
形状/形状（mm）
再生材料の適用
吸水率による区分
うわぐすり
役物
色
耐凍害性
耐滑り性
種類
内外：内外装タイル
ユ　：ユニットタイル（内装タイル以外）
備考欄：参照タイルシリーズ
標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
・行う（施工箇所：　・　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない
・ひび割れ部改修工法
・欠損部改修工法
・タイル部分張替え工法
[4.1.4] [4.4.5、7、8]
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル（性能、試験方法は別表による）
・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量
平均広さ（　）㎡　延べ箇所数（　）箇所
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル（・現場調査材料　・既調査モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書 表4.4.2による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う　・行わない
施工数量
平均広さ（　）㎡　延べ箇所数（　）箇所

工事名

県営住宅（白山台団地）
1号棟屋根・外壁塗装改修工事

図面番

特記仕様書-4

有限会社
柳計画設計

青森県八戸市大字坂町字小森31番地7
TEL 0178-34-3949
一級建築士事務所（青森県知事）第 1605 号
一級建築士登録（建設大臣）第 132417 号
柳沢清雄

承認

担当

図面番号

A
0.4

4-3

外壁改修工事

タイル張り仕上げ外壁

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り
シーリング
改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

目地詰め ※行う ・行わない

[4.1.4][4.4.5、9～15][4.5.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数 (本/㎡)		注入口の箇所数 (箇所/㎡)		注入量 (mL/箇所)	延べ広さ (㎡)	
	一般部	指定部	一般部	指定部		一般部	指定部
・アンカーピンが部分球杉樹脂注入工法	※16	※25			※25		
・アンカーピンが全面球杉樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25		
・アンカーピンが全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50		
・注入口付アンカーピンが部分球杉樹脂注入工法	※9	※16			※25		
・注入口付アンカーピンが全面球杉樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25		
・注入口付アンカーピンが全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50		
・注入口付アンカーピンが球杉樹脂注入タイル固定工法					※25		
・タイル部分張り替え工法							
・タイル張り替え工法							

アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
・
注入口付アンカーピンの材質
※ステンレス鋼（SUS304）呼び径外径6mm程度
・

4-4

外壁改修工事

塗り仕上げ外壁

・タイル部分張替え工法
接着剤の種類
・ポリマーセメントモルタル
（性能、試験方法は別表による）
・JIS A 5557に基づく
一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
施工数量
平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所
・タイル張替え工法
張替え用材料
・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
・張付けモルタル
（・現場調合材料 ・既調合モルタル）
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
※改修標準仕様書 表4.5.1による
・図示による
外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
・行う ・行わない
施工数量
平均広さ（ ）㎡ 延べ箇所数（ ）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
・
タイル張りの工法
・外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
・ユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り
シーリング
改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
・目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
・
シーリング材の種類
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地その他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
シーリングのその他事項は、改修特記仕様書 3章 防水改修工事による。

目地詰め ※行う ・行わない

[4.1.4][4.4.5、16]

・目地改修工法

○既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

○下地調整塗材

○仕上塗材仕上げ

[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・ひび割れ部改修工法 ・ ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	
○水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・図示による	

※下地調整塗材
・ポリマーセメントモルタル
（性能、試験方法は別表による）

[4.5.2]

[4.1.5][4.5.2][表4.5.1]

新規仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げる形状	工法	防火材料	
・外装薄塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・さざ波状			
・可とう形外装塗材Si	・砂壁状	・吹付け	・	
	・ゆず肌状	・ローラー塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状			
・外装薄塗材E	・砂壁状	・吹付け	・	
	・ゆず肌状	・こて塗り		
	・平たん状			
	・ゆず肌状 ・さざ波状			
・可とう形外装塗材E	・砂壁状	・吹付け	・	
	・ゆず肌状	・こて塗り		
	・平たん状 ・凹凸状			
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状	・ローラー塗り	・	
	・さざ波状	・吹付け		
	・凹凸状			
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・	

・厚付け仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げる形状	工法	上塗り	防火材料	
・外装厚塗材C	・吹放し	・吹付け	・適用する	・	
	・凸部処理	・こて塗り			
	・平たん状	・適用する			
	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし				
・外装厚塗材Si	・吹放し	・吹付け	・適用する	・	
	・凸部処理	・こて塗り ・ローラー塗り			
・外装厚塗材E	・平たん状	・適用する	・		
	・凹凸状 ・ひき起こし				

・複層仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げる形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ ・ゆず肌状	・吹付け ・ ・ローラー塗り	樹脂 ・ ・ ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・ ・耐候形2種 ・ ・耐候形3種	・
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状 ・ ・ゆず肌状	・吹付け ・ ・ローラー塗り	樹脂 ・ ・ ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・ ・耐候形2種 ・ ・耐候形3種	・
・防水形複層塗材CE ○防水形複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状 ・ ○ゆず肌状	・吹付け ・ ・ローラー塗り	樹脂 ・ ・ ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・ ・耐候形2種 ・ ・耐候形3種	・

・可とう形改修用仕上塗材

種類 (呼び名)	仕上げる形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・可とう形改修塗材E ・可とう形改修塗材RE ・可とう形改修塗材CE	・平たん状 ・さざ波状 ・ ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー塗り ・ローラー塗り	樹脂 ・ ・ ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・ ・耐候形2種 ・ ・耐候形3種	・

[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]

改修標準仕様書4.6.2 による

仕上げる形状 [4.1.5] [4.7.2.3] [表4.7.1]

・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。

吹付け工法の模様材の種類
・（・所要量（kg/㎡））
外壁用仕上塗料の種類
・（・所要量（kg/㎡））
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書 4章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

工事名
1 県営住宅（白山台団地）
1号棟屋根・外壁塗装改修工事
縮尺
S=1/—
図面名
特記仕様書-5

有限会社
柳計画設計

青森県八戸市大字鉾町字小森田31番地7
TEL 0176-34-3949
一級建築士事務所（青森県知事）第 1605 号
一級建築士登録（建設大臣）第 132417 号
柳沢 清 雄

承認
担当
図面番号
A
設計
製図
0.5

⑦

塗装改修工事

・材料

・下地調整

・素地ごしらえ

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
(箇所：)

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・

既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う (箇所)
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	
鉄鋼面	※RB種 ・RA種	
亜鉛めっき鋼面	※RB種	
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※RB種 ・RA種	
モルタル面及び せっこうプラスター面	※RB種	・行う ・行わない
コンクリート面 (DP以外) 、 ALCパネル面	※RB種	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面 (DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	※RB種	

[7.3.2～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合 透明塗料塗りの場合	※A種・B種 ※B種・A種
鉄鋼面 (DP以外)		※C種・A種・B種
鉄鋼面 (DPのみ)		※B種・A種・C種
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等以外) (鋼製建具等)		・A種・B種 ※B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種・A種
コンクリート面 (DP以外) 及び ALCパネル面		※B種・A種
押出成形セメント板面及び コンクリート面 (DPのみ)		・A種・B種
コンクリート面 (DPのみ)		※A種・B種
せっこうボード面及びその他ボード面		※B種・A種

・錆止め塗料塗り

・塗装

錆止め塗料塗りの種別

[7.4.2、3]

素地面	塗装の種類	塗料の種別	工程の種別	
鉄鋼面	SOP 錆止め塗装のまま (工程の種別は表7.4.3)	塗替え As種	※C種 ・	
		新規見え掛り	As種	※A種 ・
		新規見え隠れ	As種	※B種 ・
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え As種	※Bs種 ・As種	※C種 ・
		新規見え掛り	※Bs種 ・As種	※A種 ・
		新規見え隠れ	※Bs種 ・As種	※B種 ・
	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え	7.4.2 (1) (イ) (b) による	・B種 (下地調整RB種) ・C種 (下地調整RC種)
		新規	7.4.2 (1) (イ) (a) による	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	※Az種 ・Bz種	※C種 ・
		新規	鋼製建具等 ※Az種 ・Bz種	※A種 ・
		新規	その他 ※Bz種 ・	※B種 ・
	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え	Cz種 ・	※C種 ・
		新規	鋼製建具等 Cz種 ・	※A種 ・
		新規	その他 Cz種 ・	※B種 ・
	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え	Bz種 ・	
		新規	Bz種 ・	

[7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程	
		塗替え	新規
・合成樹脂調査 ペイント塗り (SOP)	木部屋外 木部屋内 鉄鋼面	※B種 ※B種 ※B種	※A種 ※B種 ※B種・A種
塗装の種類 ※1種 ・2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具) 亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※A種 ※B種	※B種 ※B種
・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種 ・A種 (着色 顔料の種類) ・	※B種 ・A種 (着色 顔料の種類) ・
・アクリル樹脂系非水分散形 塗料塗り (NAD)		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐水性塗料 塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (1) 級 亜鉛めっき鋼面 上塗り等級 (1) 級 コンクリート面 押出成形セメント 板面	・ ・ ・ ・	
		・A-1種	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
・つや有 合成樹脂 エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等 屋内の木部 屋内の鉄鋼面 屋内の亜鉛 めっき面	※B種 ※B種 ※B種 ※A種	※B種・A種 ※A種 ※B種・A種 ※A種・B種
・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP)		※B種	※B種・A種
・合成樹脂エマルジョン 模様塗料塗り (EP-T)		※B種	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種	※B種・A種
・ビグメントステイン塗り			
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・A種	※B種 ・A種

⑨

環境配慮改修工事

・石綿含有建材の
除去工事

・石綿含有建材の
濃度測定

・石綿含有建材の
濃度測定

[9.1.1、3～6]

適用	測定 名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
・測定1	処理作業前	処理作業室内	・計	点
・測定2		調査対象室外部の 付近	・計	点
・測定3	処理作業中	処理作業室内	・計	点
・測定4		セキュリティ ゾーン入口	・計	点
・測定5		集じん・排気装置 の排出口 (処理 作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/sec以下の 位置 ・計	点
・測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計	点
・測定7	処理作業後 (シート 養生中)	処理作業室内	・計	点
・測定8	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	・計	点
・測定9	1週間以降	調査対象室外部 の付近	・計	点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)
・測定5	パーティクルカウンター、繊維状粒子自動 測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定 名称	メンブレン フィルタ直径 (mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定4 ・測定5	25	5	30
・測定 ・	25	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理

・石綿含有吹付け材 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) の除去
除去対象範囲
・図示による
・
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3(2) (7) による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化
・固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む) の除去
除去対象範囲
・図示による
・
除去工法
※手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化
・固化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分 (管理型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有けい酸カルシウム板第一種の切断、破砕等による除去
除去対象範囲
・図示による
・
隔離養生 (負圧不要) 方法
・図示による
・
足場
・図示による
・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

・石綿含有成形板の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種の手ばらしによる除去を含む。)
除去対象範囲
・図示による
・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分 (管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分 (安定型最終処分場)
・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
・

工事名

県営住宅 (白山台団地)
1号棟屋根・外壁塗装改修工事

図 示

設計

監 理

図 面 名

特記仕様書-6

有限会社
柳 計 画 設 計

青森県八戸市大字数町字小長根1番地7
TEL 0178-34-3949
一般建築士事務所 (青森県知事) 第 1605 号
一般建築士登録 (建設大臣) 第 122417 号
柳 沢 清 雄

承認

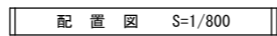
担当

図面番号


設計

監 理

A
0.6




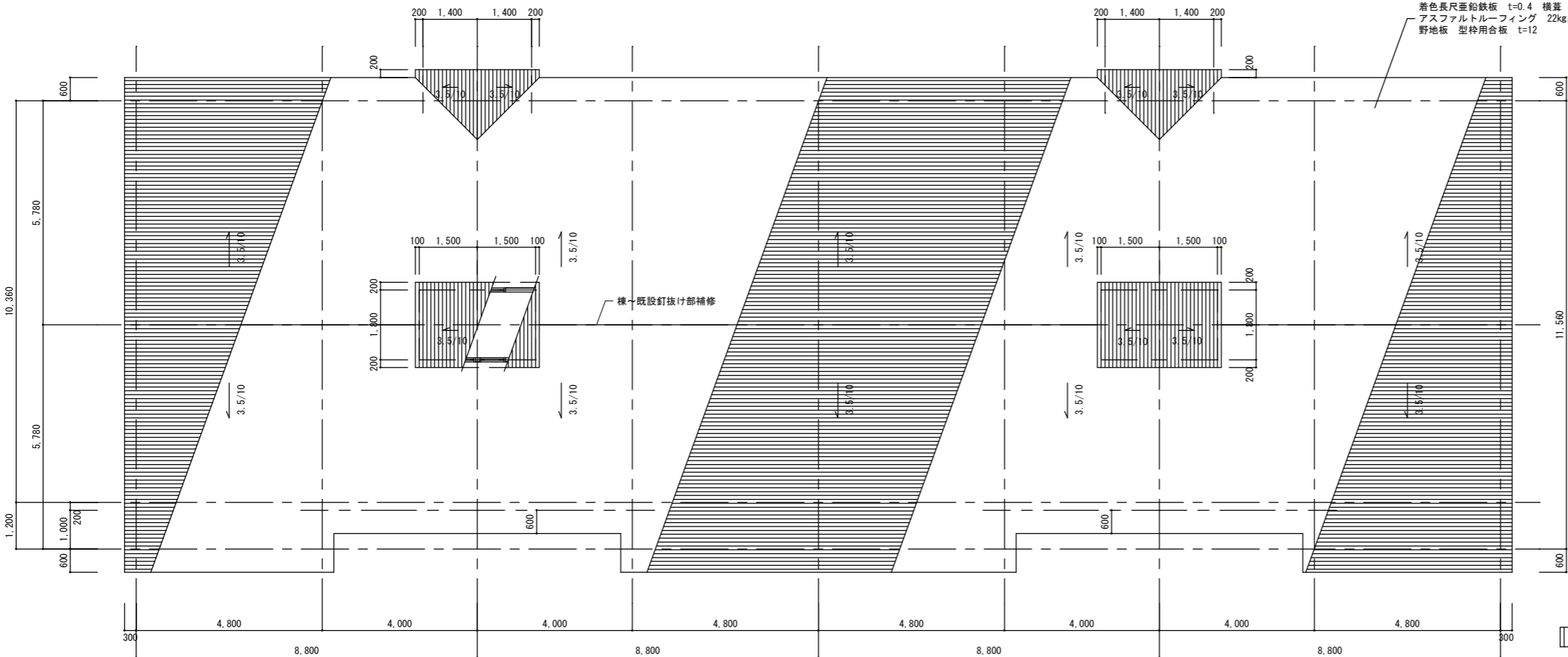
○ 改修対象建物 1号棟

工事名 一 県営住宅（白山台団地） 一 1号棟・2号棟・3号棟屋根その他改修工事	 有 限 会 社 柳 計 画 設 計 青森県八戸市大字鮫町字小長根31番地7 TEL 0178-34-3949 一級建築士事務所（青森県知事）第 1605 号 一級建築士登録（建設大臣）第 132417 号 柳 沢 満 雄	承認	担当	図面番号 A / O 7
縮尺 S=1/800 図面名 配 置 図		設計	製図	

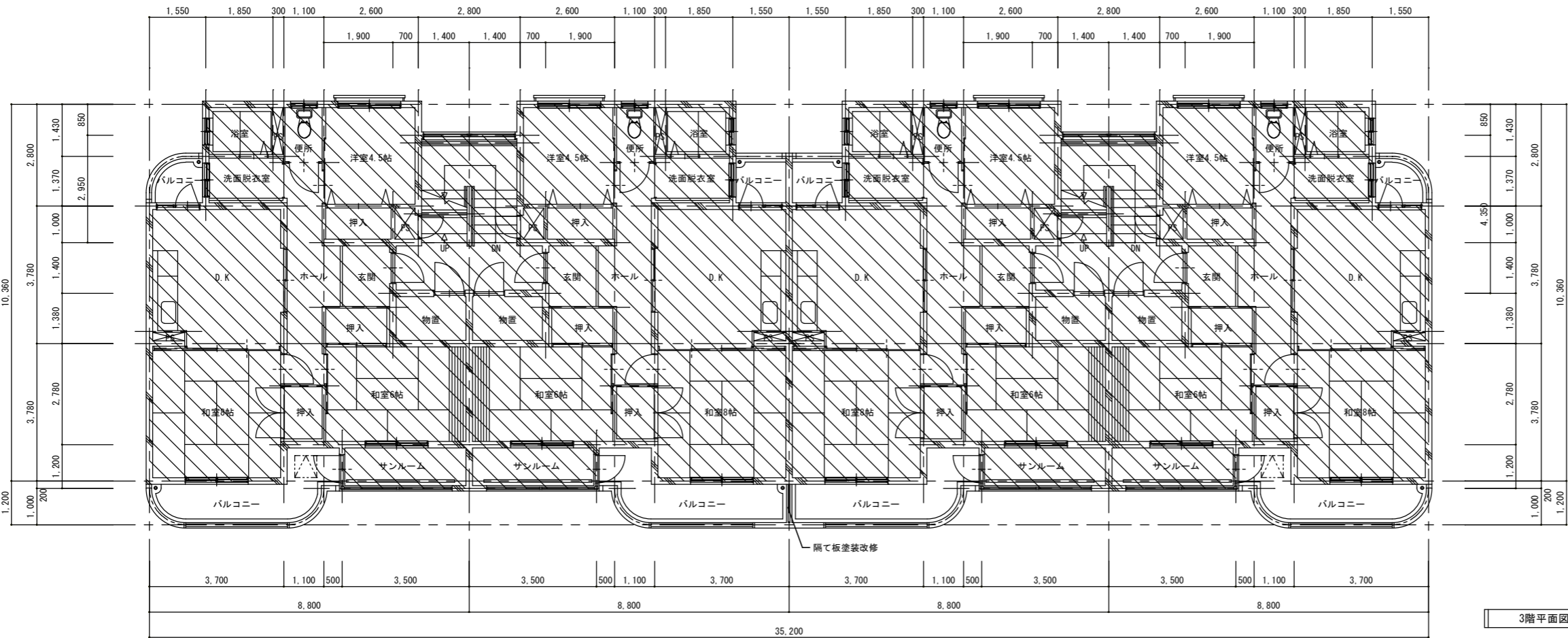
外部改修仕上表

部 位		仕 上 げ		部 位		仕 上 げ	
屋 根	屋根 越屋根 出入口上屋根 破風 けらば	既存	着色亜鉛鉄板t=0.4・横葺	バルコニー	床	既存	防水モルタル金コテ仕上
		改修	水洗い・下地調整(RB種)の上、錆止め塗料塗りB種(変性エポキシ樹脂プライマー)、鋼構造物用耐候性塗料塗りC種(フッ素樹脂系) 既設釘抜け撤去、釘打ち新設			改修	清掃、水洗いの上、接着用プライマー塗布、ウレタンゴム系塗膜防水(X-2)
軒 天	軒天 出入口上軒天	既存	石綿含有セメント板t=6 目透し張り VP		天 井	既存	コンクリート打ち放しの上、外装薄塗材E(リシン)吹付
		改修	湿润養生の上、既存セメント板撤去、フレキシブルボード(t=8、目透し張り)新設 新設ボード面素地ごしらえ(B種)の上、合成樹脂エマルジョンペイント(上塗)			改修	清掃、水洗いの上、下地調整材塗C-1、防水形複層塗材RE種
外 壁	外壁	既存	コンクリート打ち放しの上、外装薄塗材E(リシン)吹付		コンクリート手摺	既存	コンクリート打ち放しの上、外装薄塗材E(リシン)吹付
		改修	清掃、水洗いの上、下地調整材塗C-1、防水形複層塗材RE種 はく落部分及び周辺の脆弱部分を除去、露出鉄筋部分は健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除去、防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル充填 ひび割れ幅0.2mm未満：シール工法(可とう性エポキシ樹脂)			改修	清掃、水洗いの上、下地調整材塗C-1、防水形複層塗材RE種
	越屋根外壁	既存	石綿含有セメント板t=8 目透し張り VP		笠 木	既存	着色亜鉛鉄板t=0.4・W=120(Rコーナー共)
		改修	湿润養生の上、既存セメント板撤去、フレキシブルボード(t=8、目透し張り)新設 新設ボード面素地ごしらえ(B種)の上、合成樹脂エマルジョンペイント(上塗) 既存シーリング材除去、清掃の上、シーリング(2成分形変性シリコン)10×10新設			改修	既存塗膜除去、下地調整(RA種)の上、錆止め塗料塗C種(ジンクリッチプライマー)、D種(構造物用錆止めペイント) 鋼構造物用耐候性塗料(DP)塗り(1級：フッ素樹脂系) 既設釘抜け撤去、釘打ち新設
	打ち継ぎ目地 化粧目地 サッシ廻り目地	既存	シーリング 打継目地～20×10 サッシ廻り～10×10		ルーフトレイン	既存	鋳鉄製
		改修	既存シーリング材除去、清掃の上、シーリング新設 打継目地～20×10(2成分形ポリウレタン)、サッシ廻り～10×10(2成分形変性シリコン)			改修	既存塗膜除去、下地調整(RA種)の上、錆止め塗料塗C種(ジンクリッチプライマー)、D種(構造物用錆止めペイント) 鋼構造物用耐候性塗料(DP)塗り(1級：フッ素樹脂系)
	基礎廻り	既存	コンクリート打ち放し		隔て板	既存	アルミ枠隔て板(ケイカル板)
		改修	清掃、下地調整(RB種)の上、高耐候性汚染防止材塗布			改修	清掃、下地調整(RB種)の上、つや有合成樹脂エマルジョンペイント(工程B種) 既存避難ステッカー撤去、塗装改修後新設(150×400)
	レリーフ 棟番号	既存	マスチックAE				
		改修	清掃、水洗いの上、下地調整材塗C-1、防水形複層塗材RE種仕上のあとアクリル樹脂塗料にて色上げ				
	縦樋	既存	100φ SOP(南側)、50φ SOP(北側)				
		改修	既存塗膜除去、下地調整(RA種)の上、錆止め塗料塗C種(ジンクリッチプライマー)、D種(構造物用錆止めペイント) 鋼構造物用耐候性塗料(DP)塗り(1級：フッ素樹脂系)				
	ブルボックス	既存	PB～400□×D300 盤～550×400×D150、690×500×D200 SOP				
		改修	既存塗膜除去、下地調整(RA種)の上、錆止め塗料塗C種(ジンクリッチプライマー)、D種(構造物用錆止めペイント) 鋼構造物用耐候性塗料(DP)塗り(1級：フッ素樹脂系)				

工事名 県営住宅(白山台団地) 1号棟・2号棟・3号棟屋根その他改修工事	<div>有限会社 柳 計 画 設 計 青森県八戸市大字鮫町字小長根31番地7 TEL 0178-34-3949 一級建築士事務所(青森県知事)第1605号 一級建築士登録(建設大臣)第132417号 柳 沢 満 雄</div>	承認	担当	図面番号 A 08	
縮尺 S=1/-		設計日 29・08	設計		製図
図面名 改修仕上表(各棟共通)					




屋根伏図 S=1/100



3階平面図 S=1/100

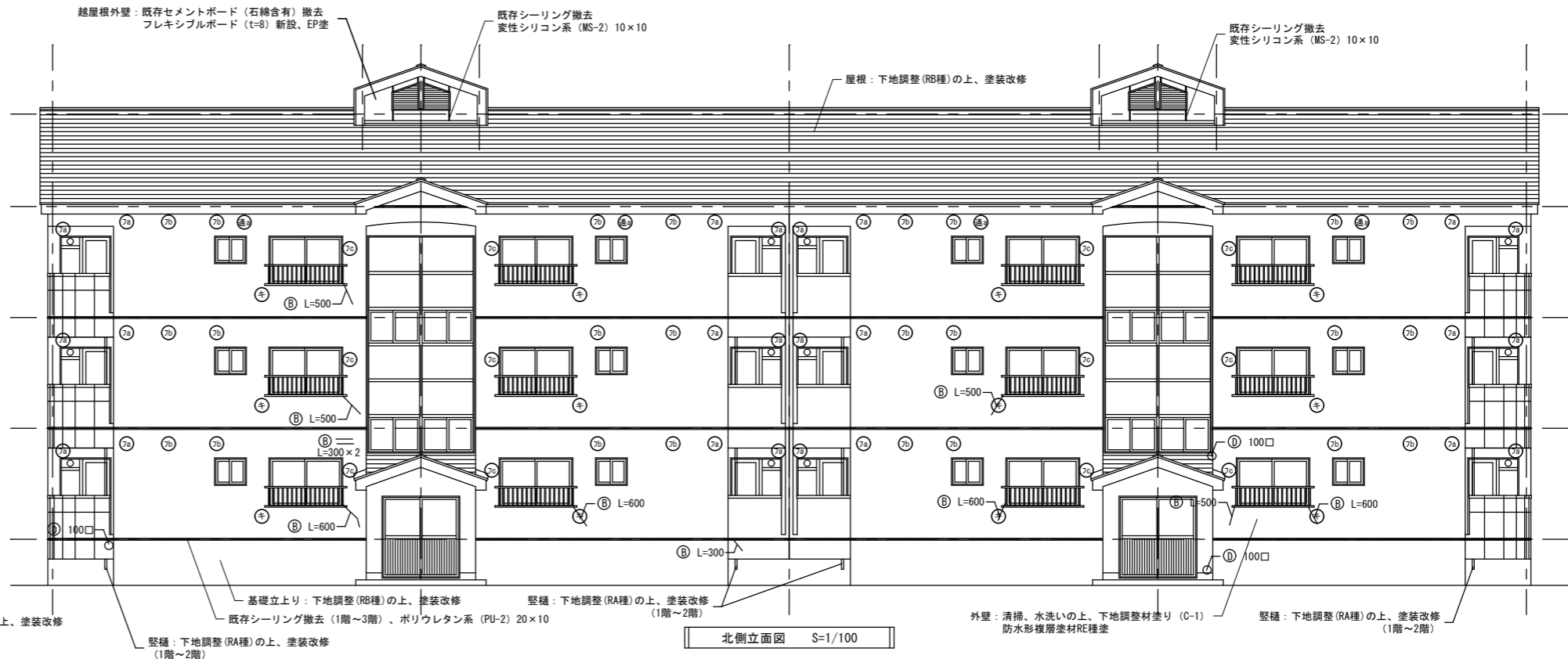
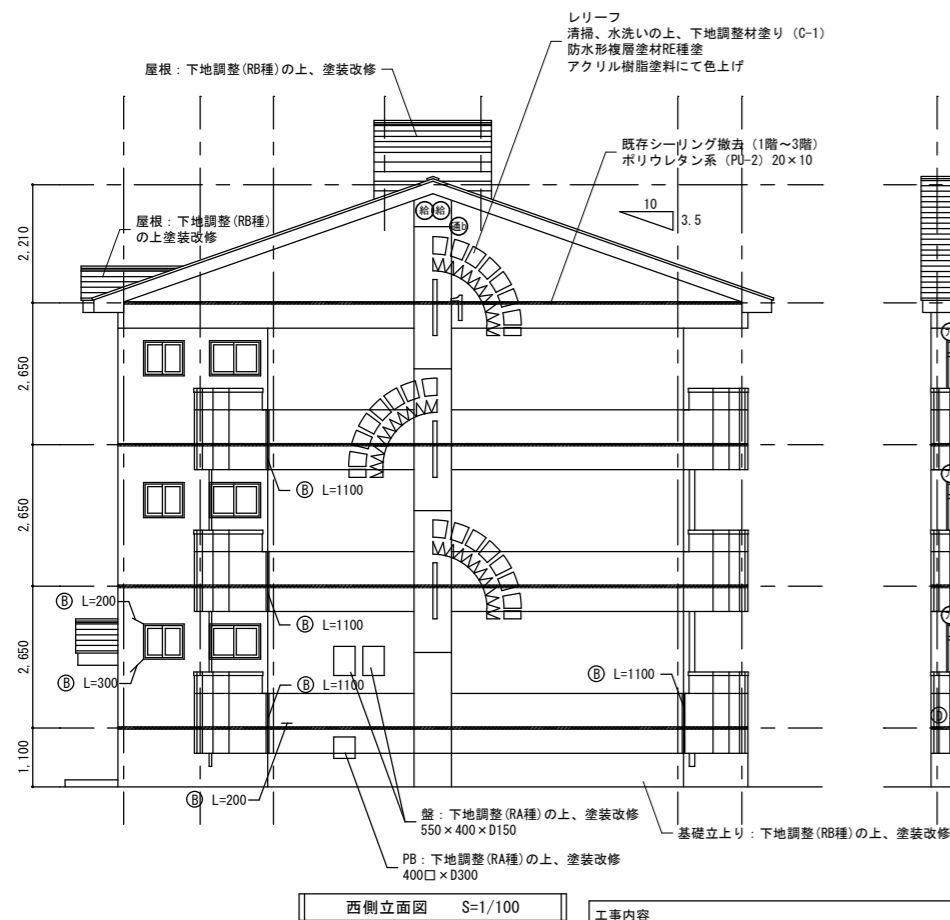
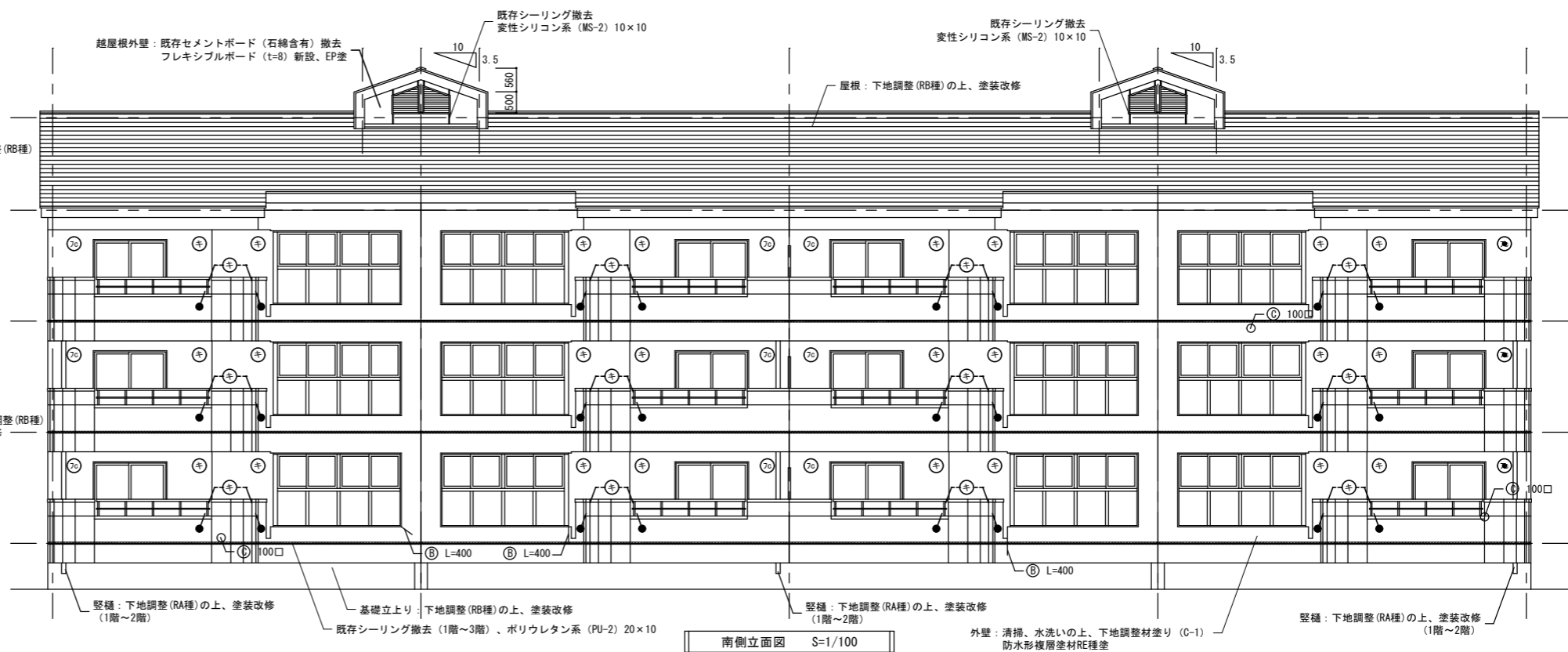
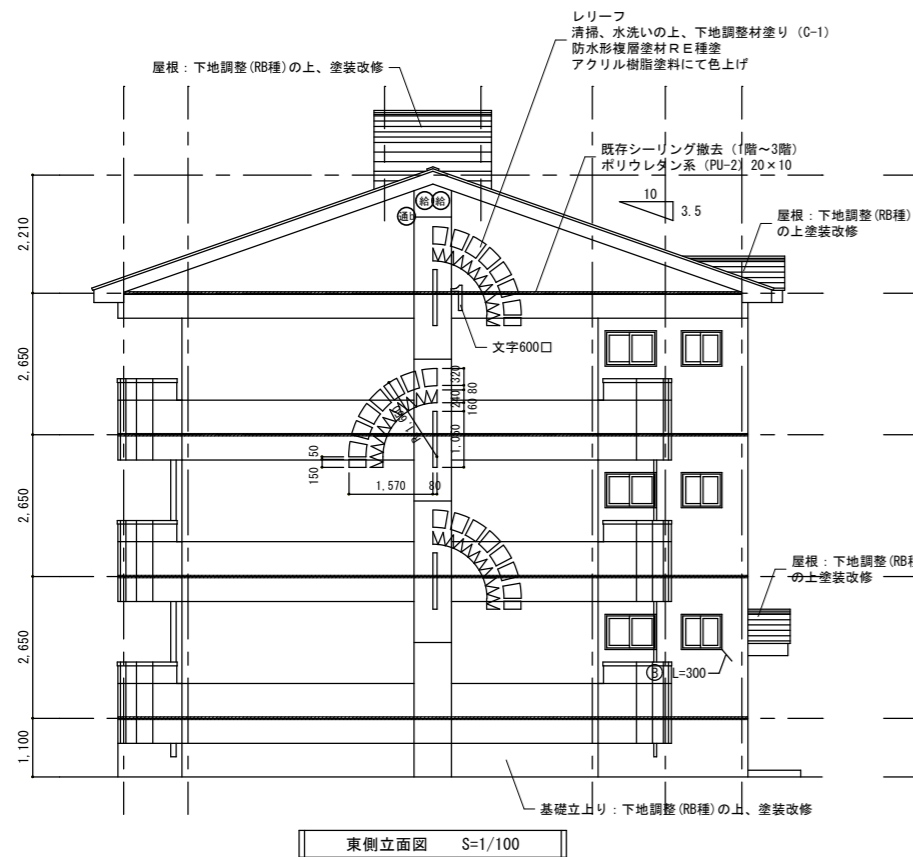
工事内容	
屋根	下地調整 (R8種) の上、塗装改修
軒天	新設・撤去の上、EP塗
外壁	下地調整材塗C-1の上、塗装改修
目地シーリング	既存シーリング撤去、ポリウレタン系 (PU-2) 20×10
建具周りシーリング	既存シーリング撤去、変性シリコン系 (MS-2) 10×10
基礎周り	下地調整 (R8種) の上、塗装改修
縦樋	下地調整 (RA種) の上、塗装改修
ブルボックス	下地調整 (RA種) の上、塗装改修
バルコニー	
床	ウレタンゴム系塗膜防水 (X-2)
天井	新設・撤去の上、EP塗
コンクリート手摺	下地調整材塗C-1の上、塗装改修
笠木	下地調整 (RA種) の上、塗装改修

< 凡 例 >
◦  工事範囲対象外

工事名
県営住宅 (白山台団地)
1号棟屋根・外壁塗装改修工事
縮尺 S=1/100
設計日 29・08
図面名
3階平面図・屋根伏図 (各棟共通)

有限会社
柳計画設計
青森県八戸市大字殿町字小長根31番地7
TEL 0178-34-3949
一級建築士事務所 (青森県知事) 第 1605 号
一級建築士登録 (建設大臣) 第 132417 号
柳沢満雄

承認	担当	図面番号
設計	製図	A 09




工事内容				換気フード廻りシーリング凡例
屋根	下地調整 (R種) の上、塗装改修	越屋根外壁	撤去・新設の上、EP塗	㊦ 深型フード 外径 250
軒天	撤去・新設の上、EP塗	目地シーリング	既存シーリング撤去、ポリウレタン系 (PU-2) 20×10	㊦ 深型フード 外径 200口
外壁	下地調整材塗C-1の上、塗装改修	建具周りシーリング	既存シーリング撤去、変性シリコン系 (MS-2) 10×10	㊦ 丸型フード 外径 φ160
㊦ 塗膜はがれ部分	塗膜除去、下地調整 (R種) の上、塗装改修	換気フード周りシーリング	既存シーリング撤去、変性シリコン系 (MS-2) 10×10	㊦ 通気口 外径 φ250
㊦ ひび割れ (0.2mm未満)	シール工法	基礎周り	下地調整 (R種) の上、塗装改修	㊦ 通気口 外径 φ155
㊦ はく落部分	エポキシ樹脂モルタル充填工法	壁樋	下地調整 (R種) の上、塗装改修	㊦ 設備用ヶツブ 外径 φ136
㊦ はく落部分 (鉄筋露出)	鉄筋ケレン、防錆処理、エポキシ樹脂モルタル充填工法	ブルボックス	下地調整 (R種) の上、塗装改修	

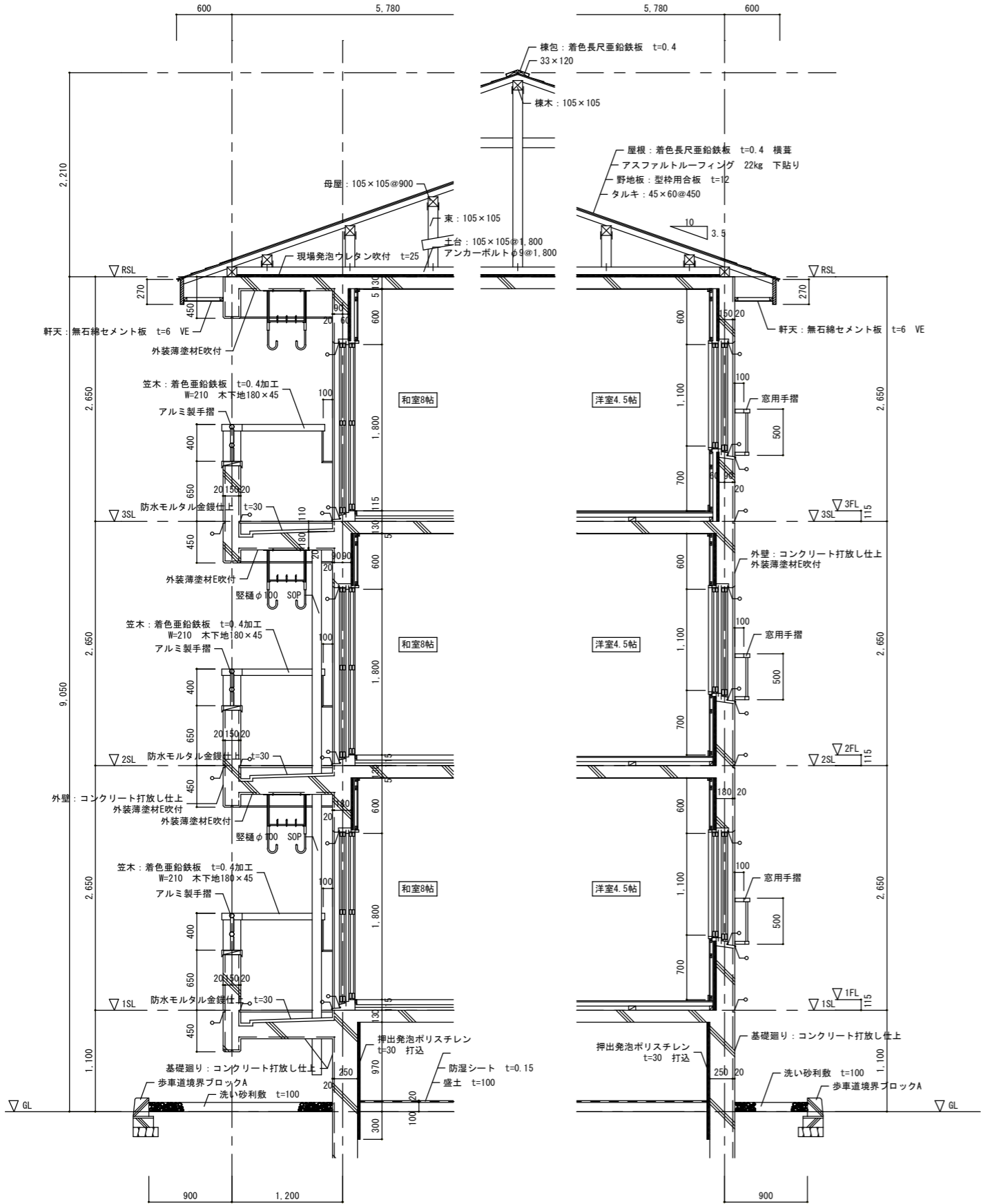
工事名
— 県営住宅（白山台団地）
— 1号棟屋根・外壁塗装改修工事

縮尺 S=1/100

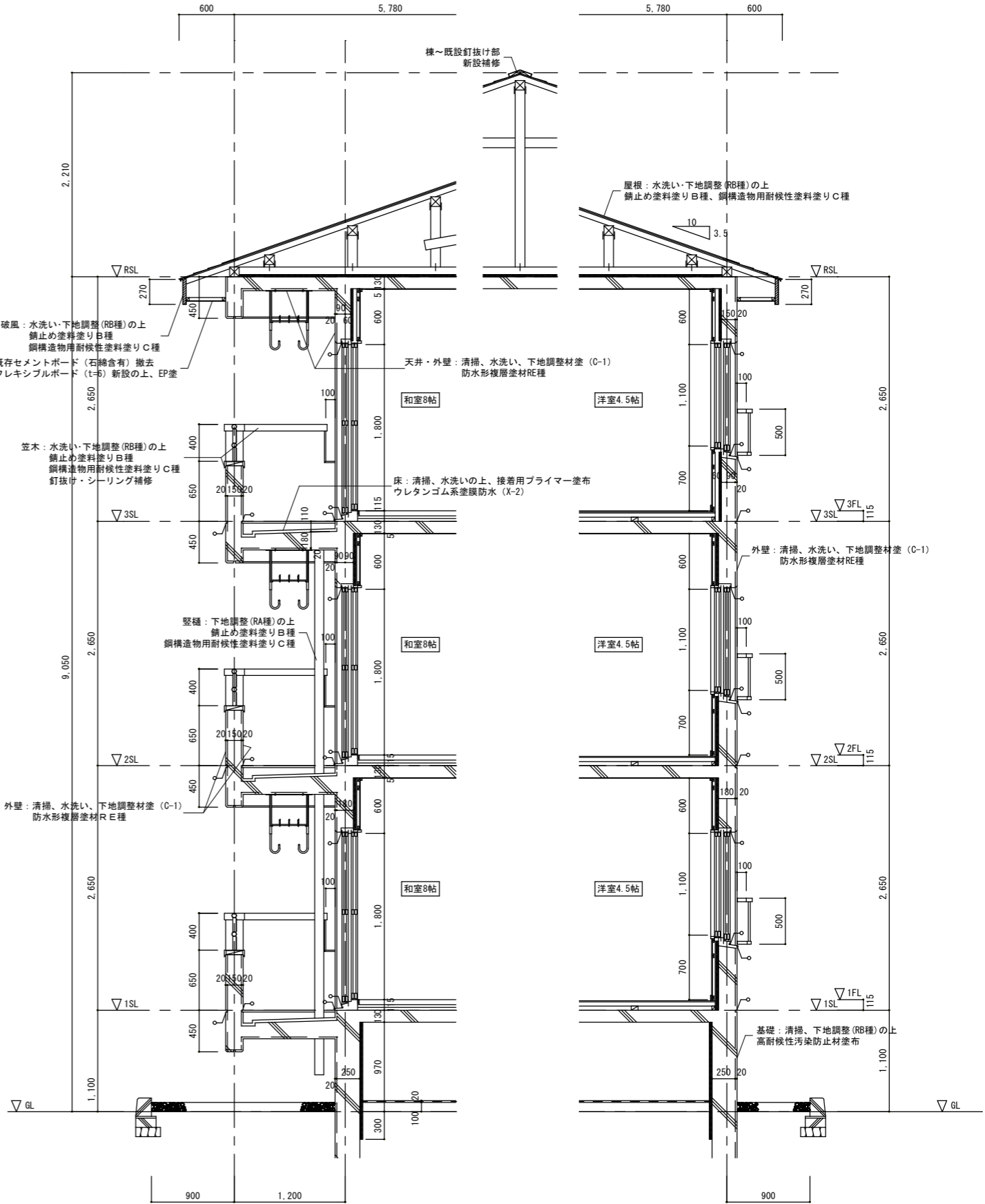
図面名
立面図 1号棟


**有限会社
柳計画設計**
 青森県八戸市大字鮫町字小長根31番地7
 TEL 0178-34-3949
 一級建築士事務所（青森県知事）第 1605 号
 一級建築士登録（建設大臣）第 132417 号
 柳沢 満雄

承認	担当	図面番号
設計	製図	A 1 1



断面詳細図 S=1/40
(改修前)



既存シーリング材除去、清掃の上シーリング新設
打継目地〜20×10 (ポリウレタン系 (PU-2))
サッシ廻り〜10×10 (変性シリコン系 (MS-2))

断面詳細図 S=1/40
(改修後)

工事名	県営住宅 (白山台団地) 1号棟屋根・外壁塗装改修工事	承認	担当	図面番号
縮尺	S=1/40	設計日	29・08	
図面名	断面詳細図 (各棟共通)	設計	製図	A 1 2
有限会社 柳計画設計		青森県八戸市大字数町字小長根31番地7 TEL 0178-34-3949 一級建築士事務所 (青森県知事) 第 1605 号 一級建築士登録 (建設大臣) 第 132417 号 柳 沢 満 雄		

1階建具位置図 S=1/150

2、3階建具位置図 S=1/150

越屋根具位置図 S=1/150

既存シーリング撤去、変性シリコン系（MS-2）10×10新設

記号・場所	1階出入口	サンプルーム		DK	LDK	洋室4.5帖	階段室
形状							
型式	アルミ製引違戸	アルミ製連窓(引違窓・FIX窓・片開戸)		アルミ製連窓(片開戸・FIX窓)	アルミ製引違断熱二重窓	アルミ製引違断熱二重窓	

記号・場所	洗面脱衣室	洗面脱衣室	越屋根	越屋根		
形状						
型式	アルミ製引違断熱二重窓	アルミ製引違断熱二重窓	アルミ製ガラリ窓（固定）	アルミ製ガラリ窓（固定）		アルミ製連窓(引違窓・FIX窓)

工事名
— 県営住宅（白山台団地）
— 1号棟屋根・外壁塗装改修工事

縮尺
— S=1/100

図面名
— 建具表（各棟共通）

設計日
— 29・08

設計
— 柳沢満雄

有会社
柳計画設計

青森県八戸市大字殿町宇小長根31番地7
TEL 0178-34-3949
一級建築士事務所（青森県知事）第 1605 号
一級建築士登録（建設大臣）第 132417 号
柳沢満雄

承認

担当

設計

製図

図面番号
— A
— 13